

平成23年7月22日
農政部 技術支援課（内線3036）

放射性物質汚染に対する農産物の安全検査について（第24回）

県では国の支援協力を得て、東京電力福島第一原子力発電所から漏れた放射性物質の影響を受けた県内農産物の安全確認検査を毎週行っています。

7月19日までに農家から提供を受けた麦について、分析を行ったところ、全ての検査対象について暫定規制値を下回りましたので、食用に供して問題ありません。

- 1 検査地域
 - ・北群渋川地域（渋川市（旧赤城村・北橋村除く）、吉岡町、榛東村）
 - ・中之条町
 - 計2地域
- 2 検査対象作物
 - ・六条大麦(1)、小麦(2) 計3検体
- 3 採取日
 - 平成23年7月12、13日
- 4 分析及び結果判明日
 - 平成23年7月22日
- 5 検査結果の概要
 - 検査を行った全ての麦について、放射性物質濃度は暫定規制値以下でした。詳細は、別紙のとおり
- 6 分析機関
 - 財団法人 日本食品分析センター

(別紙)

サンプリング検査結果

分析機関：(財)日本食品分析センター

麦

採取日：7月12・13日 分析日：7月22日

市町村	品目	栽培形態	放射性物質の濃度 (Bq / kg)		
			放射性セシウム		放射性ヨウ素
			セシウム134	セシウム137	
北群渋川地域 (渋川市(旧赤城村・北橘村除く)、 吉岡町、榛東村)	六条大麦	露地栽培	検出せず	検出せず	検出せず
	小麦	露地栽培	検出せず	検出せず	検出せず
中之条町	小麦	露地栽培	検出せず	検出せず	検出せず

第23回公表分からセシウム134とセシウム137について、それぞれの検出結果を公表しています。

暫定規制値：放射性セシウム（セシウム134とセシウム137の合計） 500 Bq / kg
ただし、麦については、放射性ヨウ素の規制値はない。

「検出せず」とは、検査機器が測定できる定量下限値未満であることを示す。
定量下限値は、セシウム134、セシウム137、放射性ヨウ素とも20 Bq / kg。